

日本スポーツ少年団の活動方針について



令和3年度スポーツ少年団緊急対策プロジェクト

スポーツ少年団改革プラン2022

スポーツ少年団の理念

- ひとりでも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- スポーツで人々をつなぎ 地域づくりに貢献する

『子どもの権利とスポーツの原則』(日本ユニセフ協会)

- 子どもの発育と発達に合わせた指導を行います
- 子どもたちに元気や勇気が出る声かけをします
- 子どもたちが「自分の言葉で」生き生きと話せるよう応援します
- いつでもフェアプレーすることの大切さを伝えます

柱2 子どもたちに元気や勇気が出る声かけをします



スポーツ少年団改革プラン2022

- スポーツ少年団は 勝利至上主義を否定し、スポーツの本質である自発的な運動(遊び)から得られる『楽しさ』を享受できる機会をジュニア・ユース世代に提供する

全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

- 相手を讃えるセレモニー
- フレンドリー戦
- フェアプレー賞
- 指導者講習会

今後の全国大会のあり方を考えましょう

例えば

- 試合数を増やし、たくさんのチームと交流ができるようにする
- すべての登録選手が出場できる機会をつくる
- 予選リーグをもとに カテゴリーを分け それぞれの優勝チームを表彰する